

感染症の登園基準

※ は登園許可書が必要です。

病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
※ インフルエンザ (様疾患)	1~2日	感染後約10日	発熱・咳・筋肉痛・鼻カタル 全身倦怠・咽頭痛	発症後5日を経過し、かつ解熱後3日 を経過し元気が良い時
※ 百日咳	6~15日	感染後約3週	発作性咳の長期反復、持続	特有に咳が消失した時また、適正な抗 菌性物質製剤による治療が終了し元気 が良い時
※ はしか(麻疹)	10~12日	発疹出現の前 後4~5日	上気道のカタル・発熱 粘膜疹コプリック斑	発疹に伴う熱が下がった後、3日を経 過し元気が良い時
※ おたふく風邪 (流行性耳下腺炎)	14~24日	明らかな症状を 示す7日前から その後9日続く	発熱・耳下腺・舌下腺、顎下 腺の腫脹及び圧痛	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹が発現し た後5日を経過し、かつ全身状態が良 好になった時
※ 三日はしか(風疹)	14~21日	発疹出現の前 後7日間	種々の発疹・軽熱・リンパ 腺肥大	発疹が消失した時
※ 水ぼうそう(水痘)	11~20日	水疱発現前 2~後6日	軽熱・被覆部に発疹 斑点丘疹状→水疱→顆粒 状	全ての発疹が痂皮(かさぶた)になっ た時
※ 咽頭結膜炎	5~6日	潜伏期後半~ 発症後約5日間	発熱・全身症状 咽頭炎と結膜炎の合併症	主な症状の消失後、2日を経過し元気 が良い時
※ アデノウイルス感染症	5~6日	潜伏期後半~ 発症後約5日間	発熱・嘔吐・下痢	主な症状の消失後、2日を経過し元気 が良い時
※ 流行性角結膜炎	1週間以上	発病後約2週間	軽熱・頭痛・全身倦怠・結膜 の炎症・目やに・眼瞼浮腫	治癒するまで
※ 急性出血性結膜炎	1~2日	発病後約4日	流涙・結膜充血・滲出液・眼 瞼浮腫	治癒するまで
※ 溶連菌感染症	2~4日	潜伏期後半~ 発症後約7日間	発熱・咽頭痛・扁桃腺炎・頸 部リンパ節炎・莓舌・全身 に発疹	有効治療を始めてから2~3日経過後
※ 結核	6ヶ月~2年 以内に多い		咳・痰・胸痛・発熱	他人への感染の恐れがないと医師が認 めた時
感染性胃腸炎 (ノロ・ロタウイルス等)	1~3日		発熱・腹痛・下痢 ロタウイルスの場合、レモ ン色、白色の下痢便	主な症状が殆ど消滅し、主治医、園医が 登園して差し支えないと認めた時
マイコプラズマ肺炎	10~24日		咳・発熱・呼吸困難(重症 時)	主な症状が殆ど消滅し、主治医、園医が 登園して差し支えないと認めた時
ヘルパンギーナ	2~7日		高熱・咽頭痛・咽頭に水疱	主な症状が殆ど消滅し、主治医、園医が 登園して差し支えないと認めた時
手足口病	2~7日	水疱消滅まで	感冒様症状 手足口に赤斑→水疱	主な症状が殆ど消滅し、主治医、園医が 登園して差し支えないと認めた時
RSウイルス	2~8日		発熱・咳	主な症状が殆ど消滅し、主治医、園医が 登園して差し支えないと認めた時
りんご病 (伝染性紅斑)	17~18日	14~20日	顔面赤斑、特に頬部に発疹	感染力はないので、元気が良ければ登 園可能
突発性発疹	約10日		高熱・3日後に全身発疹	主な症状が殆ど消滅し、主治医、園医が 登園して差し支えないと認めた時
ヘルペス性 歯肉口内炎	2日~ 2週間		口内炎症	症状が改善し、元気であれば登園可能
とびひ	2~10日	水疱消滅まで	主として豆粒大の水疱自 覚症状	他人への感染の恐れがないと医師が認 めた時 露出する部位を覆う
水いぼ (伝染性軟属腫)	14~50日		球状の水いぼ	他人への感染の恐れがないと医師が認 めた時 露出した部位を覆う